



日

本の源流再発見

File 10

神奈川県伊勢原市

江戸時代の一大行楽地



日本遺産「江戸庶民の信仰と行楽の地～巨大な木太刀を担いで「大山詣り」～」に認定された神奈川県伊勢原市は、神奈川県のほぼ中央部に位置し、江戸時代には庶民の信仰を集めた大山詣りで栄えました。今に続く大山詣りに加え、現在では東京や横浜など大都市に近いため、ベッドタウンともなっています。

大山こま (はりまや)

古くからの信仰と現代が共存する町

伊勢原市北西部に位置し、標高1,252mの美しい山容を持つ大山。ここには霊山として古くから信仰を集め、紀元前97年創建と伝わる「大山阿夫利神社」と、奈良東大寺別当の良弁僧正が755(天平勝宝7)年に開山した「雨降山 大山寺」があります。古来神仏一体で信仰されてきましたが、明治元年の神仏分離令により分離。廃仏棄釈により元々大山寺があった場所に大山阿夫利神社の下社として新たな拝殿が建てられ、大山寺は少し下った現在の位置に移りました。下社からは、相模湾や江ノ島はもちろん、晴れた日

は房総半島まで一望でき、山頂からは富士山も望めます。

江戸時代の大山詣りの人気は大変なもので、江戸の人口が100万人だったころ、年間20万人もが訪れたといえます。富士詣りも人気でしたが、江戸から富士山には少なくとも7日かかり、箱根の関所を通るため手形も必要でした。その点、大山詣りなら関所も通らず帰りに江ノ島や金沢八景を経由しても3、4日で行くことができます。その気軽さから多くの庶民が訪れました。

職人仲間やご近所などで費用を積み立て、お詣りする「大山講」が組織さ



良辯(ろうべん)滝

れるようになり、大山詣りはさらに盛んになりました。また、先導師(当時は御師)と呼ばれる修験者をルーツに持つ宿坊の主人たちの努力もありました。先導師は、受け持つ講中がお詣りに来ると宿泊の準備や道案内を務めました。現在も大山の麓には、たくさんの宿坊が軒を連ねています。

大山詣りは行楽も兼ねていたため、



▲ 神奈川県立伊勢原射撃場

国際競技が実施できるクレー射撃場が複数面ある射撃場。ライフル射撃場では弾を使わないビームライフル（可視光線銃）もあり、銃砲所持許可を持たないかたも楽しめます



▲ 大山阿夫利神社

源頼朝公が武運長久を祈願して太刀を納めたことから、多くの太刀が奉納されたという「納太刀」。6mに及びものもあったといわれています



▲ 雨降山 大山寺

弘法大師も住職を務めたという古刹（こさつ）。春日局が徳川家光公が将軍になることを祈願し、その願いがかなったことから、家光公が熱心に信仰し大いに栄えました



▲ 伊勢原市立子ども科学館

天体観測会やサイエンスショー、工作・実験教室など楽しいイベントも多数行っています

人々を楽しませる名物も人気を集めました。食べ物では、大山豆腐やきゃらぶき、土産物では大山こまが有名です。大山こまは、今も昔ながらの技法が守られ、よく回ることから金運がついてまわる縁起物とされています。

伊勢原市の中心部は、大山周辺とは違って変わって市街地が広がります。市役所に隣接する「伊勢原市立子ども科学館」は、近隣では最多の139席あるプラネタリウムを備えた体験型科学館。さまざまな展示を実際に見て触って試すことで、子どもたちの科学への好奇心が培われる文化施設です。

スポーツ施設では、クレー射撃とライフル射撃ができる「神奈川県立伊勢原射撃場」があります。ナショナルトレーニングセンターでもあり、射撃のトップアスリートの合宿も行われています。

古さと新しさが共存する魅力的な街、伊勢原。これからも歴史を紡いでいくことでしょう。

ココに注目

豚肉と野菜をみそ味で絡め、トルティーヤで巻いた伊勢原名物豚ティーヤ。「トラットリア オリーブの樹」の豚ティーヤはまるで花束のよう。



日立グループ事業所紹介

今回訪れた神奈川県には日立製作所 神奈川事業所があり、日立のコンピュータ専門工場として発足、各種サーバなどの開発・製造を行ってきました。2016年には小田原工場からストレージ生産ラインを移設、サーバやストレージなどITプロダクツのマザー工場となっています。

株式会社 日立製作所 ITプロダクツ統括本部 神奈川事業所 神奈川県秦野市堀山下1番地
<http://www.hitachi.co.jp/it/>